

ヨコハマ市民まち普請事業

第二次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、土地・建物使用承諾書(第5号様式)、一次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	菊名・錦が丘にみんなの“ひろば”をつくる会
整備場所(町名又は丁目まで記入)	港北区錦が丘
提案名 (25字以内)	カベを取り払ってみんなが自由になる「ひろば」づくり
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>現在活動している拠点の外構部について、敷地・道路・建物間の高低差を解消する整備を行う。通路の幅を十分な広さにする。以上を通じて、車椅子使用者や歩行困難者を含めた多くの人々が利用できるようにする。</p> <p>【カベ】庭の道路側にある高さ2mのカベを取り払い、道路から庭への高低差の少ない箇所より出入りできるように改修する。カベが取り払われることで、外からの見通しも良くなり、明るく開かれた庭とする。</p> <p>【スロープ】カベが取り払われたことにより道路からフラットに敷地内に入ることができ、さらに建屋に向けて車椅子、ベビーカーが通行可能なスロープを設置、上部に日よけが設置できるパーゴラを建てる。</p> <p>【門扉から玄関までの通路】現在、大人一人通るのがやっとの幅なので、アプローチしやすいように少し拡張し、イベント時等の安全性を向上させる。アプローチから庭へ続く階段を作る。</p> <p>【庭】現在庭にある大きな木を1本残し、ひろばのシンボルツリーとする。(12月にはクリスマスツリー)庭の木々や土を整理し季節の花や野菜を育てるファームを作る。またアウトドアでの活動にも利用できるようにする。洋室から庭に出ることができるよう、階段を設置し、庭と室内を連続して使えるようにする。</p> <p>【看板設置】地域の情報発信、当施設の活動及び連携の団体活動を広報する看板を設置する。この看板を団体が相互利用することを通じて、連携を深める。看板は、設置場所の事情に応じたデザインを工夫する。</p> <p>設置場所：①当整備施設前 ②錦が丘植村邸前 ③ギャラリー&スペース弥平前 ④秋山邸前</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第一次提案書より具体的に記入して	<ul style="list-style-type: none"> ・カベを取り払うことで、車椅子やベビーカーでの出入りが可能となり、家で過ごしがちな高齢者や親子にとって、身近な交流の場として外出のきっかけをつくることのできる場所とする。 ・カベが取り払われたことで、見えにくかった中の活動の様子が町を歩く人からも伺えるようになる。開かれた庭の花や緑は地域の住民と拠点をつなぎ、地域の共有財産となる。オープンになった庭にベンチを置くことで、コミュニティの輪が広がり、拠点を利用したり活動参加にもつながる。地域にベンチを置く場を提供することは錦が丘地区などの地域福祉計画との連携にもなる。 ・庭の整備後は地域の方が庭を見て楽しむだけでなく、自ら担い手として参加し

<p>ください</p>	<p>多様なイベントが多世代の交流を目的に開催されるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板には施設でのイベントや地域の活動拠点のお知らせを掲示する。 ・キッチンと建物2Fの広いベランダと一体的に活用し、月1度のランチ会や町内会のイベントを開催する。 ・2019年10月より駄菓子販売を開始したが、子供だけでなく、大人からの懐かしいという声もあり、販売員と購入者とのコミュニケーションの場となりつつある。塾までの空き時間やお迎えまでの待合いの場所などの利用が可能な体制にしていく。 ・町内会や子供会などのイベント会場として非営利な場所貸しを行い、幅広く地域へ開放しまちづくりに貢献する。
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)</p>	<p>提案場所の周辺の地域は坂が多く、ケアプラザなどの公共施設への交通が不便である。そのため、住民の身近な場所にある地域活動の拠点が求められてきた。「菊名おでかけバス」や「おやこの広場びーのびーの」といった市民活動がベースとしてあり、拠点を運営する地域の担い手の活動は活発である。菊名駅周辺の住宅地では、戸建て住宅に住む高齢者も、小規模の集合住宅に住む独身者、子育て世代も、それぞれが憩う場所、集う場所を求めている。しかし、周辺の地域にはこのような場所が少なく、それぞれの居場所づくりが求められている。今回の提案場所は、すでにある拠点等で継続的に行われてきた、菊名周辺まちづくりの意見交換の場からうまれた。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>【カベ】カベ＝庭のコンクリート塀を撤去。安全性を確保するため、近隣の工務店に協力を依頼する。</p> <p>【スロープ】塀の撤去後、木製のスロープと階段を施設利用者と町内会の方々と作る。塗装、デッキ材貼りなど自分たちでできることは、自分たちで行う。</p> <p>【門扉から玄関までの通路】拡張作業に伴うコンクリートブロックの撤去及び階段部分のコンクリート工事は近隣業者に依頼する。</p> <p>【庭】庭木はシンボルツリーを残し、ファームとして利用できるように土を整備する。町内会の花や野菜作りが得意な方の指導のもと、町内会の方々や子供たちと作業を行う。</p> <p>【看板設置】看板のデザインはひろばをつくる会のみんなで考える。看板作成と設置は近隣業者に依頼する。</p> <p>全体の設計計画に関しては、メンバーのDIYアドバイザー・エクステリアコーディネーターが行い、他のメンバーや地域の方に施工指導もできるため、実施費用を抑えることができる。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>人と人の接点は、いろいろなものが媒介して生まれる。今回カベを取り払うことにより、地域の見えづらかった資源に気づききっかけをつくり、これらの媒介が有効に働くように提案場所を運営する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭の整備後は、町のガーデンとして地域のみんなで活用し、港北オープンガーデンなどのイベントに参加、来場者とのつながりを生んでいく。 ・看板には、イベントの案内や、他の拠点の案内を掲載するなど、地域一体となって人のつながりが生まれるような広報効果を期待する。 ・拠点は、ひろばをつくる会と地域の人が協力して、日常的に開店するようにし、街のお休み処とする。また、イベントや貸しスペースとして活用する。 <p>【地域資源】</p> <p>「ヒト」：ボランティアによるおでかけバス、お試し食事会などをすでに運営している、層の厚い地域活動団体や、町内会の協力。</p> <p>「モノ」：庭の緑化には、オープンガーデンでも実績のある緑の活動団体から花苗や、腐葉土などの協力が得られる。</p> <p>「カネ」：カフェ運営やバザー、スペース貸し等による売上で運営費を賄う。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

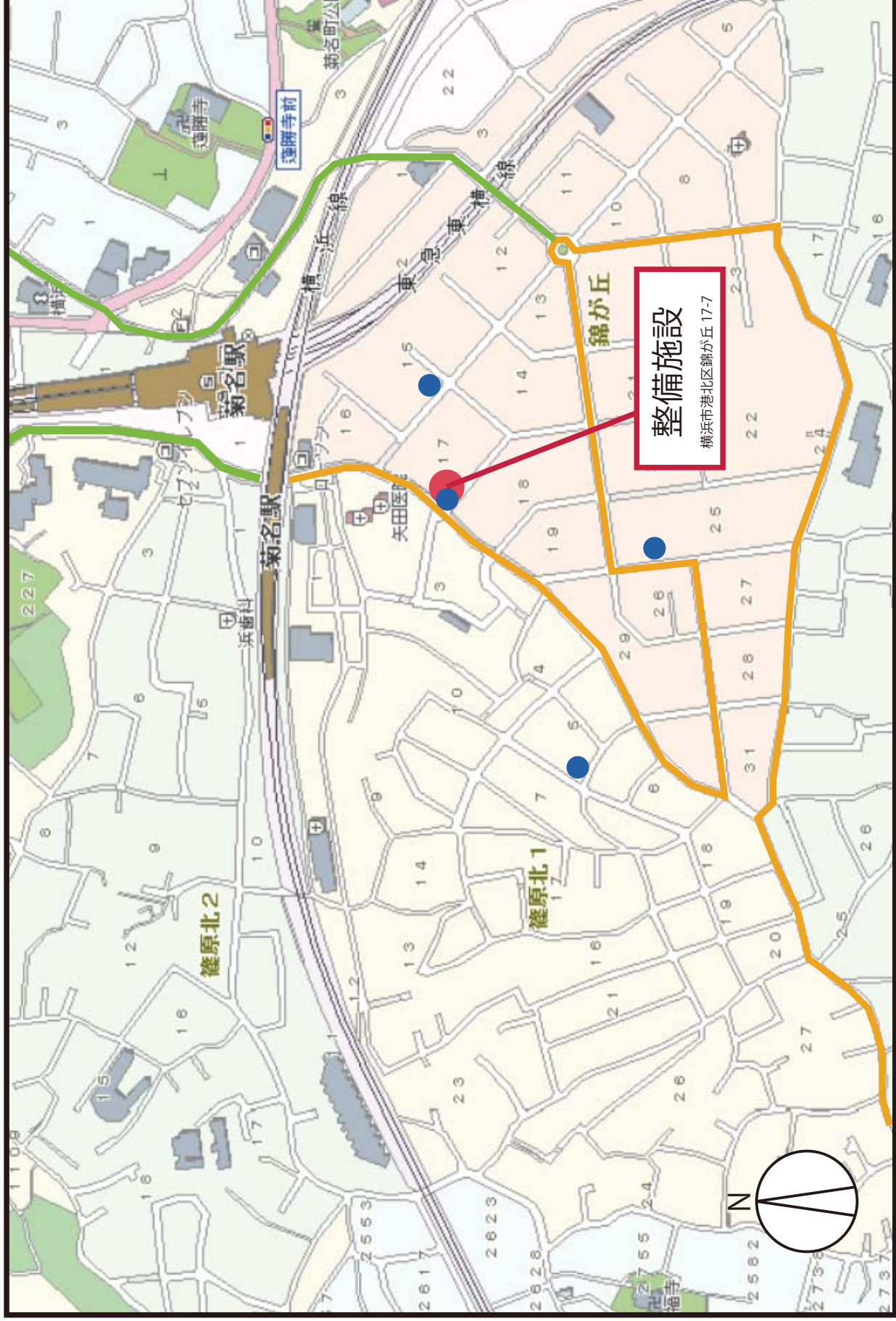
- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

<p>一次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p><月1回>お試しランチ会：食を通して、新たな交流が広がっている。 <4月・10月>バザー：延べ200人の来場があり広場の認知が広がっている。 <毎週火曜～木曜>駄菓子屋：子供のみならず、大人も懐かしいと訪れる。ちょっとした会話が地域のつながりを生んでいる <8/16>こども紙工作イベント：ゼロから作り上げる体験を実施し喜びを実感。こどもが中心となるイベントのとりかかりとなる。 <9/12他>レコード鑑賞会：趣味を通じての仲間の広がりが期待される。 <9/27>加藤さんの「私が育ったころ」おはなし会：おでかけバスの利用者であった方から、昔の話を聞く会。整備地の旧オーナーも来場され、私達の活動拠点の利用に対し、‘とてもうれしい’との言葉をもらった。 <11/11>フィリピンの障害者施設の訪問団の歓迎会場：他の公共施設と異なり当施設ではキッチンが利用できるなど、活用の自由度が高く、交流が広がる場となった。 <10/26～3日間>ハロウィンイベント、フォトスポット：地域のイベントにも参加しネットワークを広げている。ひろばの認知にも役立った。 <11/21>ひろばの歌作り：捨てられそうになっていたギターを地域の方が復活させたことをきっかけに、私たちのひろばの思いを歌にして残すこととした。 <11/29～12/3>ご近所文化祭：ギャラリー&スペース弥平、CAFE&アトリエおからさんとの共同開催。3拠点に地域の方々の作品展示や演奏を行う。</p>
<p>関係者の合意・調整状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・11/6 錦が丘町内会の役員会にて活動の説明を行い、合意を得た。 ・拠点を訪れる方々に、逐次、整備の内容を伝えている。 ・12/20 整備地で説明会を開催し合意を得る予定。それに先立ち、アンケートを配布し説明会で回答することで、対話的な説明を行う。
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで外出を控えていた車椅子利用の近所の方に来場してもらえるよう、日々の活動でネットワークの広がりを意識し、看板での情報発信をしっかりと行う。 ・提案場所は、パブリックでもプライベートでもない中間的な存在として地域に受け入れられつつあり、この特性は、施設の外と内とを遮る壁だけではなく、人と人の交流を妨げているいろいろな「カベ」を取り払うことに有効である。
<p>目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設からの距離が遠い錦が丘にあって、提案場所が、地域ケアプラザやコミュニティハウスの役割の一端を担うことになる。このようにして地域の高齢者の生きがいを創造し人生100年時代を楽しめる地域にしたい。 ・今後は、提案場所が新たな拠点となって、地域のまちづくりの新たな担い手が生まれ、それぞれの拠点の連携強化によって、地域全体に、更に新たな活動が生まれる地域にしていきたい。 ・整備した拠点が継続的に運営される地域にしていく。公的な支援を得にくい場づくりに対して、地域の資産として自身の資産を提供したり、スキルを活かした活動を行う人が生まれてくる。また、そのような拠点を地域が支える仕組みを生み出し、新しい支え合いのモデルを作りたい。

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

位置図



地図情報：横浜市行政地図情報提供システムより



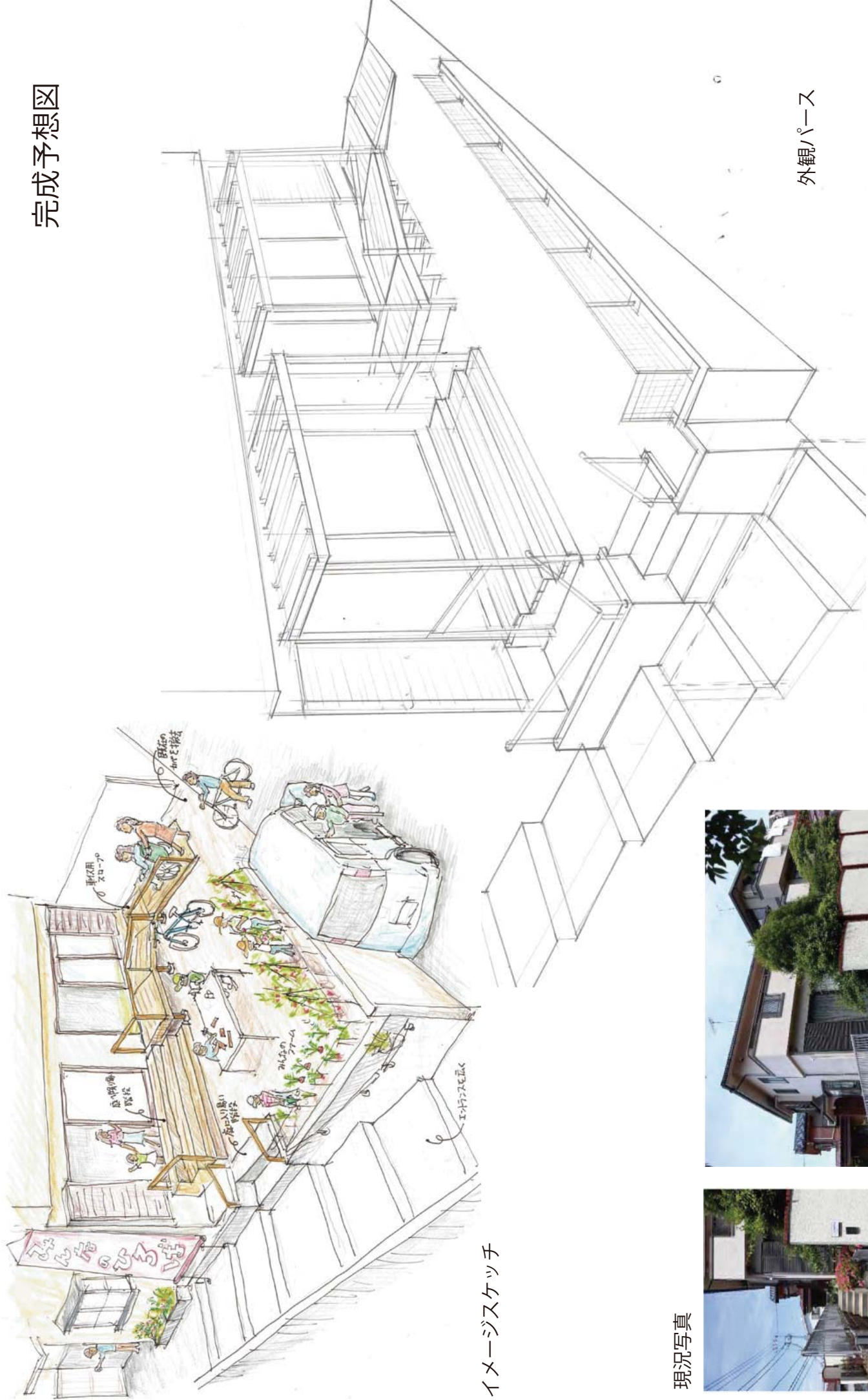
菊名おでかけバスルート

● 看板設置予定場所

S=1:5000

カベを取り払ってみんなが自由になる「ひろは」づくり
 菊名・錦が丘にみんなの「ひろは」をつくる会

完成予想図



イメージスケッチ

外観パース



現況写真

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
カベ撤去・補修	カベ撤去・補修・フェンス設置	1式	2,000,000	2,000,000	
通路拡幅・階段新設	通路拡幅階段新設手すり設置	1式	1,200,000	1,200,000	
庭整備	植栽整備 残土物処 分 整地	1式	600,000	600,000	一部、町内会や子供達と植栽します
バリアフリー化工事	木製スロープ・木製階段の作成・材料費	1式	1,000,000	1,000,000	塗装、デッキ貼りは地域の皆さんと施工します
看板設置	大	1機	200,000	200,000	デザインは地域の皆さんから募集します
看板設置	小	3機	80,000	240,000	デザインは地域の皆さんから募集します
設計料		1式	0	0	メンバーのDIYアドバイザーが担当するので費用の削減ができる
小計				5,240,000	
消費税				524,000	
合計				5,764,000	

1次コンテスト以降の活動状況

8月	毎週火曜	おでかけバス待合所	 <p>8/14 タウンニュース記事</p>	<p>おためしランチ会</p> 
	毎週木曜	夏休みサロン		
	14日	タウンニュースに掲載される		
	16日	子ども紙工作		
	22日～25日	ミエル貸出 子ども基地		
	27日	おためしランチ会		
9月	毎週火曜	おでかけバス待合所	 <p>LPレコード鑑賞会</p>	<p>おためしランチ会 赤ちゃんも一緒</p> 
	毎週木曜	夏休みサロン		
	1日	ふじ町内会貸出		
	9日	みんなのひろば キックオフパーティー		
	12日	LPレコード鑑賞会		
	21日	ビーのビーの貸出		
	24日	お試しランチ会		
	26日	コミバスサロン 「私の育ったころ」		
10月	毎週火曜	おでかけバス待合所・駄菓子屋		<p>駄菓子屋</p> 
	毎週水曜	健康麻雀・駄菓子屋		
	毎週木曜	木曜サロン・駄菓子屋		
	10日	LPレコード鑑賞会		
	13,14日	バザー		
	25日	ミエル貸出 菊名deミエル		
	26日～28日	菊名西口商店街 ハロウィンイベント参加		
	29日	お試しランチ会		
	31日	おうちパン教室		
11月	毎週火曜	おでかけバス待合所・駄菓子屋	 <p>11/14 神奈川新聞記事</p>	<p>日比交流</p> 
	毎週水曜	こどもひろば・駄菓子屋		
	毎週木曜	木曜サロン・駄菓子屋		
	7日	健康麻雀		
	9日	錦が丘町内会貸出 錦が丘緑の会 ランチ会		
	10日	大綱中佐藤学級同窓会貸出		
	11日	日比障害者交流の集い貸出		
	14日	神奈川新聞に掲載される LPレコード鑑賞会		
	17日	あへあほ体操貸出		
	21日	健康麻雀 ひろばのつどい ひろばのうたを 作ろう		
	26日	おためしランチ会		
	28日	おうちパン教室		
	29日～12/3	ご近所文化祭 写真展		
	30日	ひろばのつどい ひろばのうたを歌おう		

♪ みんなのひろばのうた

1. 季には桜 秋にはもみじ
おでかけバスが通る街道
夕陽のあたる思い出の家
これからはぼくらのみんなのひろば
ぼくらしく わたしらしく
手をつなぎ共に歩けば
笑顔 あられる みんなのひろば
2. 語り合う夢 輝く瞳
あなたの話 聴かせてください
誰かが優しくなれる
これがぼくらのみんなのひろば
小さな手 大きな手
共に笑え合えば



整備内容

BEFORE



AFTER



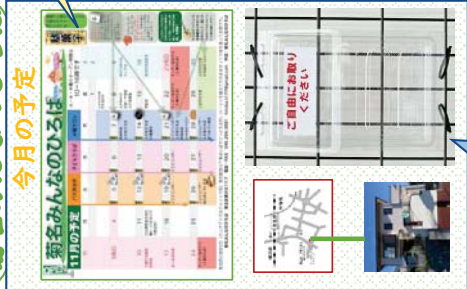
設置看板案

お名みんなのひろば

今月の予定

A3
サイズ

・サイズ・
高さ 約120 c m
幅 約45 c m
・素材・
アルミ



アクリル製
チラシ入れ
A4サイズ

ココを
整備

- ①庭の道路側のカベを取り払い、道路と高低差の少ないところより入りできるようになる。
- ②高低差の少ない箇所から、スロープを設置する。
- ③庭の木々を整備し、みんなのファームを作る。
- ④門扉から玄関までの通路を拡幅する。



活動イメージ写真

